

【日本の大学】第 50 回——明治大学：自由と自治の精神を涵養

明治大学は、明治時代初期の 1881 年にフランス法学を教授する明治法律学校として創設されたのが始まりである。封建的な社会から近代社会へと変容する時代に、個人の権利を確立し、自由な社会を実現しようと、弱冠 30 歳足らずの青年法律家であった岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の 3 人によって立ち上げられた。



明治大学を創立した 3 人の青年法律家、岸本辰雄・宮城浩蔵・矢代操の肖像と、建学の精神「権利自由 独立自治」が刻印されたレリーフ。

創立時からの伝統によって確立された精神である「権利自由」「独立自治」に基づいて、自由と自治の精神を養うことを理念としており、現在は、10 学部、12 大学院研究科などを誇る総合大学となっている。

青年法律家 3 人の熱い思い

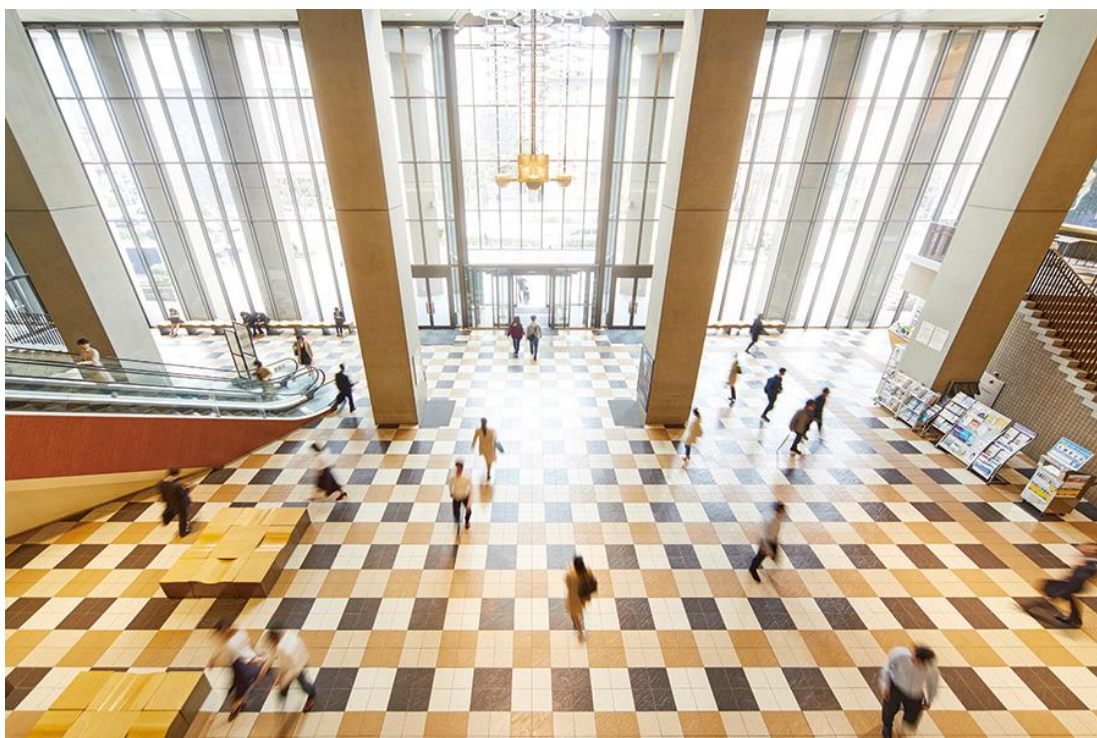
以下、明治大学のホームページなどを参考に、大学の歴史と現状をみてみよう。

岸本ら 3 人は、司法省法学校で「お雇い外国人」教師のボアソナードなどからフランス法学を学び、第 1 期の卒業生となった。岸本と宮城はフランスに留学し、法学などを学んで 1880 年に帰朝した。この二人と卒業後元老院に職を得た矢代の 3 人は、「我が国の近代市民社会を担う聡明な若者を育てたい」との熱い思いから、法律学校を創立しようと計画し、

1881年1月に現在の東京・有楽町3丁目の旧島原藩の邸内に明治法律学校の開校にこぎ着けた。

5年後の1886年には、東京・神田駿河台南甲賀町に校舎を新築して移転、88年には校長・教頭の制を置き、初代校長に岸本、教頭に宮城が就任した。1903年には専門学校令に基づいて、名称を「明治大学」と改称、翌04年には法学部、政学部、文学部、商学部を設置、各学部本科・専門科を置くなど、総合大学に向けて歩みを進めた。

1911年には最初の記念館が落成、場所は現在の駿河台校舎（東京都千代田区）のある所である。1920年には大学令による大学設立が認可された。1933年には予科を和泉に移転するため校舎の建築が着工され翌年には移転している。



リバティタワーの紫紺ホール（駿河台キャンパス）

第2次大戦後の1949年、学校教育法によって新制の明治大学が設置された。この時には、法学部、商学部、政治経済学部、文学部、工学部、農学部の6学部が置かれ、法、商、政経、文学部には夜学に相当する二部が置かれた。

1950年には、駿河台、和泉両校舎に加え、生田校舎（神奈川県川崎市多摩区）が開設された。生田校舎には農学部が置かれたほか、校舎の竣工が続き、89年には理工学部、91年

には大学院の理工学研究科が設置された。

人気の都市型総合大学

和泉校舎（東京都杉並区）でも図書館の増設（87年）、第一校舎の竣工（88年）など拡大が図られた。和泉では主に1、2年次の学生が学び、3、4年次になると駿河台に移る学部が多い。ほかには、新しくできた国際日本学部、総合数理学部の学生が学ぶ中野キャンパスがある。キャンパスはいずれも日本の中心地である東京を中心に展開する都市型大学である。



和泉図書館

本部のある駿河台キャンパス（東京・千代田区神田駿河台）は現在、法・商・政経・文・経営など6学部の3、4年次の学生と、大学院・法科大学院・専門職大学院の学生が学んでいる。和泉キャンパス（東京・杉並区永福）は以上の学部の1、2年生と大学院生が学ぶ。

生田キャンパス（川崎市多摩区）には、理工学部と農学部の1～4年生と大学院生が、新しい中野キャンパス（東京・中野区）には国際日本学部、総合数理学部の1～4年生と関連の大学院生が学んでいる。

少子化が進む日本において18歳人口が年々減少する中で、明治大学への志願者は14年連続で10万人を超えており、各種調査によると、「志願したい大学（関東エリア）」で第1位であり、「生徒に人気のある大学」でも第1位と、人気度では常にトップの地位にある。

政治経済学部は同大学を代表する学部と位置付けても良いだろう。教員数はフルタイムの教員が 100 人余、非常勤教員が 140 人に上る大規模な学部である。これら教授陣が年間 1500 もの授業を、5 千名に上る学生に対して講義している。科目内容も、人文系の外国文学や日本語文章論、民俗学・社会心理学、マスメディア論など社会学系、さらに政治・経済・地域行政の分野に関しても、歴史あり、理論あり、コンピュータ利用の解析ありとさまざまな範疇の科目が並んでいる。

大学の前身である明治法律学校から続く伝統を誇るのが法学部である。近代法以降の法原理に沿って「ルールを作り効率よく運営」するための法学的素養を有する健全な社会人の育成を目的としている。「法曹コース」「公共法務コース」「ビジネスローコース」「国際関係法コース」「法と情報コース」の 5 コースを設けている。



駿河台キャンパス アカデミーコモン

情報、国際関連学部に力点

2004 年には 8 番目の学部として情報コミュニケーション学部が、08 年には 9 番目の学部として国際日本学部がそれぞれ開設された。08 年は、農学部農業経済学科を食料環境政策学科に名称変更、大学院情報コミュニケーション研究科の開設、大学院教養デザイン研究科の開設、大学院理工学研究科新領域創造専攻の開設など、多くの組織改正が実施されてい

る。

情報コミュニケーション学部について、大学は「あらゆる分野の垣根を越えて現代の情報社会を探究する学部である」と位置付けている。現代社会はネットワーク技術に支えられながら高度情報社会の段階に突入している。一方で、2011年の東日本大震災・原発事故で露呈した非常時の危機管理問題やネット上でのさまざまな犯罪や情報セキュリティなど、情報社会は多様な課題を抱えている。学部では、こうした「情報コミュニケーション」の視座から、高度に情報化し、複雑化した現代の諸問題に学際的な方法でアプローチしていく。

10番目の学部である総合数理学部が開設されたのは2013年の4月である。現代の複雑化する社会問題に対して、数学的理論から導き出せる答えは数多く存在している。自然も、政治も、医療も、地域も、メディアも、あるいは人の心さえもそうである。数理学と情報技術の最先端を学び、あらゆる現象を解明するチカラと、新たなモデルを創造・発信するチカラを身につける。そしてグローバルな視点で社会に貢献する。そんな狙いから学部は創設された。「現象数理学科」「先端メディアサイエンス学科」「ネットワークデザイン学科」の3学科からなっている。モノ・コトから現れる複雑な現象を、数学で解明する「現象数理学科」、まだ誰も経験したことのないモノ・コトを世の中へ出す「先端メディアサイエンス学科」、動き続けるモノ・コトの“つながり”を捉え、スマートな社会を創る「ネットワークデザイン学科」がある。

大学は近年、国際性や国際化に特に力点を置いている。国際日本学部の開設もその一環である。国際日本学部は、日本から学び、世界から学び、日本と世界のつなぎ方を学ぶことで「日本と世界をつなぐ力」を育む学部である、と位置付けている。日本のみならず世界各地から集まったさまざまな学生たちとともに、「人文科学」「社会科学」といった伝統的な学問の垣根を越えてさまざまな知識を得ることができる。豊富な語学授業によって、コミュニケーションの実践力を高めることができる。日本で英語の教員になること、あるいは海外で日本語を教えるための技術を習得することもできる。

さらに世界200校以上に及ぶ海外協定校への交換留学も可能である。フロリダ州立大学・ウォルトディズニーワールド提携アカデミックインターンシップや海外ボランティアをはじめとする学部独自の多様なプログラムへの参加を通して貴重な海外経験を得ることができる。

国際化への取り組みとしては、2009年に文部科学省の国際化拠点整備事業（グローバル30）に大学が採択されたことや、国際連携機構を設置したこと（09年）、海外拠点として中国・北京市内に北京事務所を開設（2011年）、国際総合研究所の開設（2012年）、「海外ト

ップユニバーシティ留学奨励助成金」の新設（2017年）、国際混住寮「明治大学グローバル・ヴィレッジ」の竣工（2019年）など、次々に展開している。

国際連携機構の下には「国際連携本部」「国際教育センター」「日本語教育センター」が置かれており、学内外の諸機関と連携しながら、さまざまな取り組みを実施している。国際連携本部は、国際連携推進に関する企画、立案をするほか、海外の大学、研究機関との学術交流、学生交流を推進する協定の締結をすること、外国人研究者などの招聘などを行う。国際教育センターは、学生の海外留学・研修、外国人留学生の受け入れ、生活支援などを行っている。また、日本語教育センターの役割は留学生共通日本語科目の運営、外国人留学生の日本語教育に関する調査・研究などである。



中野キャンパスのラーニング・ラウンジ

202111月末現在、57か国・地域の364大学と協定を締結、うち46か国・地域の269の大学と学生交流のある協定を締結している。

留学生への支援や留学生同士の親睦、留学生と日本人学生の交流を促進するためにキャンパスのある4地区にはそれぞれに国際交流ラウンジを開設している。ここでは、留学生の日本語学習や日本での生活支援を行っている。和泉キャンパスのラウンジでは、国際交流団体キャンパスメイトによる留学生と日本人学生の交流を図る国際交流イベント開催や、学生間交流、学び合いの機会を増やすことを目的に「English Café」を開いている。外国人

留学生に向けて「ガイドブック 2021」もまとめている。大学に関する基本的な情報はもちろん、海外から大学に留学している人に向けて、学内での諸手続きや大学が紹介している奨学金に関する情報を 1 冊にまとめたものだ。学内で必要な情報だけでなく、在留資格の手続きといった日本で生活するうえで必須の情報や、緊急時の医療機関や相談先をまとめた情報などを掲載している。



和泉キャンパス

学生数は学部生が 31040 名（うち女性 10585 名）、修士・博士、専門職課程と合わせると 33118 名（うち女子 11421 名）である。教員数は学部の専任教員は 982 名（うち女性 205 名）、兼任教員と合わせると 2464 名（うち女性 663 名）、大学院と合わせた合計の教員数は 2874（女性 735 名）である。（以上 2021 年 5 月現在）

学長は大六野耕作氏である。1977 年明治大学法学部卒、政治経済学研究科前期課程修了（政治学修士）、同後期課程を経て、1982 年から政治経済学部専任助手、同講師、助教授を経て専任教授。2008 年政治経済学部長、16 年副学長、20 年 4 月から学長。専門は比較政治論。

文：滝川 進
写真：明治大学 HP